

熊本大学分子遺伝学分野から臨床研究のお知らせです

研究課題名

神経・精神疾患におけるアンジオポエチン様蛋白(ANGPTLs)の体内動態と機能解明

研究期間

2016年6月7日 から 2028年3月31日まで

研究の目的・方法

本研究は、脳脊髄液に含まれるアンジオポエチン様因子(ANGPTLs)と神経・精神疾患病態の症状や重症度との関連についての調査で、国立研究開発法人 国立神経・精神医療研究センター(NCNP)との共同研究により行われます。

研究に利用する試料・情報

この調査は脳脊髄液の採取や問診などを新たに行うものではなく、保存された試料の検査を追加するのみで、研究対象者様に身体的・精神的苦痛を伴わない調査です。

研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名

研究機関の名称：熊本大学大学院生命科学研究部

研究機関の長：安東 由喜雄

研究責任者：尾池 雄一 分子遺伝学分野 教授

患者情報および試料の提供機関: 国立研究開発法人 国立神経・精神医療研究センター

研究に関する試料の入手・閲覧について

ご要望があれば、研究対象者様御本人あるいはご家族が読まれる場合に限り、他の患者様の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において、この研究の計画書をご覧ください。下記担当者までご連絡ください。

個人情報の取り扱いについて

1. 個人情報は研究のために特定した目的、項目に限り適正に取得、利用します。
2. 取得した情報を用いて解析した研究の結果は、論文や学会発表として公表されますが、公表される情報には個人を特定し得る情報は含まれませんのでご安心ください。
3. 取得した情報は万全な安全管理対策を講じ、適切に保護し慎重に取り扱います。
4. 個人が特定できる情報が熊本大学から外部に出ることはありません。
5. 研究対象者の情報および試料は個人が特定できないかたちで国立研究開発法人 国立神経・精神医療研究センターから熊本大学へ提供されます。

利益相反について

本研究計画は、国から交付された研究費（科学研究費など）用いて行われる予定です。本研究は費用の出資者と無関係に公正に遂行されます。本研究の利益相反については、熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の承認を得ております。また、本研究では当該研究の経過等を熊本大学生命科学研究部長へ報告することにより、利害関係の公正性を保ちます。

お問合せ・ご相談への対応窓口

熊本大学生命科学研究部 分子遺伝分野 担当者：森永 潤 - 連絡先 - 熊本大学生命科学研究部 分子遺伝学分野 〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘 1-1-1 電話 096-373-5142